活性化のための推進者の行動ポイント

1. 職場内で行うＱＣサークル活動の進め方を正しく理解する。
2. ＱＣサークルが活動しやすい環境づくり（雰囲気づくりなど）を工夫する。
3. ＱＣサークルリーダー等の役割分担を決めるときは、必ずアドバイスする。
4. テーマの見つけ方・選定の仕方をアドバイスし、承認する。
5. ＱＣサークルの成長に合わせた育成計画を作成し、指導する。
6. 社内外発表会や交流会などの機会を活かし、他サークルの良い点を学ばせる。
7. ＱＣサークルの活動した経過・努力を認めて評価する。
8. 管理者（支援者）・推進事務局と連絡を密にして活用する。
9. 社内外の動向・環境変化に関心を持ち、常に自ら勉強する。
10. 職場の問題・課題を共有化し、改善を任せられるサークルに育てる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Q | (Quality | 品質) |
| C | (Cost | 原価) |
| D | (Delivery | 納期) |
| S | (Safety | 安全) |
| M | (Morale | やる気) |
| E | (Environment | 環境) |

活性化のための支援者の行動ポイント

1. 会社方針（目的）とＱＣサークル活動を結び付けて、進め方を指導・援助する。
2. 自主性を発揮できるような雰囲気づくりを工夫し、促進する。
3. ＱＣサークル活動計画の助言・指導を行い、承認する。
4. ＱＣサークル活動の進め方、ＱＣ手法の使い方などについて、教育計画を立てて実施する。
5. よくやっているサークルや、活発にやってもらいたいリーダーやメンバーを社外大会交流会などに派遣する。
6. 月・期・年といった期間で、ＱＣサークルを評価し、賞賛する。
7. ＱＣサークルでの改善内容が、他部門や職制の活動と関連ができた場合、積極的に調整を行い、活動の活発化を図る。
8. ＱＣサークル活動の効果を正しく評価し、賞賛するとともに、助言・激励を行い、広くＰＲする。
9. 社外大会・交流会や研修会などに参加し、他社の活動状況の把握や、自己啓発に努める。
10. ＱＣサークルに対する熱意の持ち方次第で、次の職場の６大使命が左右される事を自覚する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Q | (Quality | 品質) |
| C | (Cost | 原価) |
| D | (Delivery | 納期) |
| S | (Safety | 安全) |
| M | (Morale | やる気) |
| E | (Environment | 環境) |

活性化のための推進事務局の行動ポイント

1. ＱＣサークル活動の意義・目的を正しく理解し、理解・普及活動に努める。
2. ＱＣサークル活動がしやすい環境づくり（風土づくりなど）に努める。
3. ＱＣサークルの活性化計画（中期・単年）を立て、ＰＤＣＡを確実に回す。
4. ＱＣサークル教育の方法（社内教育、外部研修）を考え、継続的に実施する。
5. やらせるだけでなく、熱意を持って一緒になって取り組む（盛り上げ役）。
6. 社内外のＱＣサークル活動状況・情報を収集し、情報展開する。
7. ＱＣサークルの評価指標を定め、定期的に評価し、顕彰する（褒める）。
8. 管理者（支援者）・各事務局と活発にコミュニケーションをとる。
9. 社内外の動向・環境変化に関心を持ち、常に自ら勉強する。
10. 職場の問題・課題を共有化し、改善を任せられるサークルを増やす仕掛けを。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Q | (Quality | 品質) |
| C | (Cost | 原価) |
| D | (Delivery | 納期) |
| S | (Safety | 安全) |
| M | (Morale | やる気) |
| E | (Environment | 環境) |